

地域の活動拠点のあり方を考えます！

- 加木屋地区では、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「かぎや将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）からは、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討していきます。
- 第1回は6月15日（土）に開催し、公共施設等総合管理計画や、加木屋の地域密着型施設の状況及び拠点のあり方等について、市から説明しました。（参加者14名）
- 第2回は8月16日（金）に開催しました。（参加者15名）引き続き、地域の合意形成を積み重ねながら検討を進めます。

市民館・児童館・敬老の家の「良い点・気になる点」を洗い出し！

- 加木屋地区にある主な地域密着型施設（市民館・児童館・敬老の家）について、地域住民のほか、施設利用者や運営者など様々な視点から、「良い点・気になる点」等について、意見を出し合いました。（◎良い点、▲気になる点）

市民館		児童館	
アクセス	◎バス停が近い ◎駐車場が広く車で行くことができる ▲駐車場の出入口の視界が悪い	アクセス	◎交通量が少なく危険が少ない ▲駐車できる場所はあるが、周辺道路が狭いため、利用しにくい ▲家が遠い人は利用しにくい
利用・活用	◎近隣市町より施設使用料が安価 ◎利用者が多い ◎中央図書館のネットワーク施設で便利 ▲予約時にキャンセル待ちがあると良い ▲地元が優先して申し込めない	利用・活用	◎通学路のルート上にあり、下校時の小学生が休憩場所として利用している ▲小学生のみが利用する施設という印象がある（乳幼児親子～18歳までが利用できる）
機能	◎飲食できる場所がある ◎体育室が広く、幅広い活動ができる ▲体育室のバックヤードが狭い（倉庫） ▲体育室にエアコンがない ▲施設が古く修繕の必要なものが多い	機能	▲相談のための個室があるとよい ▲おむつの交換台があるとよい ▲バリアフリー対応ではない ▲施設が老朽化している

敬老の家	
アクセス	▲家が遠い人は利用しにくい ▲駐車場がない
利用・活用	◎施設使用料が無料 ◎高齢者の身近な居場所として、つながりをつくる場となっている ▲利用者が固定化している ▲常時開館していないため、自由来館による交流ができない
機能	—



本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-603-2211

0562-33-1111（内線152、156）

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp